

<p><b>学力調査等の状況</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>読解力や表現力には向上がみられるものの、文法や漢字などの知識面において課題がみられた。(国語)</li> <li>基本的な計算問題は多くの生徒が理解できているものの、見方・考え方に関する問題に課題がある。(数学)</li> <li>反復練習を経て既習文法の理解は深まっているものの、表現の能力にやや課題が見られる。(英語)</li> </ul>
--

<p><b>見えてきた課題</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>授業の場では解ける生徒も多くなるが、定期考査で見たことのない問題などへ取り組む姿勢や粘り強く考える力が不足している。</li> <li>授業で理解していても定期考査の点数に結びついていない生徒が多く、得点力をつける必要がある。</li> </ul>
---

授業をデザインする8つの取組について	
価値ある対話の共有	グループ活動・話し合い活動を取り入れ、深い学びを目指す。
認め合う・学び合う集団の形成	表現する力を身につけ、発表の機会を増やすことで、教えあい・学び合うことができる授業。
ICT機器の活用	視覚的な資料の提示。機器を活用し、生徒自身が課題作成・話し合い・発表ができる授業。

各教科における課題を改善するための指導の重点				
	年度当初に設定した重点	第1学年	第2学年	第3学年
国語科	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業のねらいを理解させ意欲的に取り組ませる。</li> <li>毎時間の中で、語彙力を高めるための学習に力を入れる。また、興味関心を高める指導を工夫する。</li> <li>表現する力を身につけるために毎時間書く活動を取り入れる。</li> <li>読解の力を付けるために音読を重視した取り組みを行う。</li> <li>言葉を通して自分の思いを伝えられるような取り組みを取り入れる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業のねらいを理解させ意欲的に取り組ませる。</li> <li>毎時間の中で語彙力を高めるための学習に注力する。</li> <li>表現力を身につけるために毎時間書く活動を取り入れる。</li> <li>読解力を身につけるために音読を重視した活動を取り入れる。</li> <li>ICTを活用し、自分の思いや発想を出しやすくするとともに、意見を共有し深めあう機会を確保する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業のねらいを理解させ意欲的に取り組ませる。</li> <li>毎時間の中で語彙力を高めるための学習に注力する。</li> <li>表現力を身につけるために毎時間書く活動を取り入れる。</li> <li>読解力を身につけるために音読を重視した活動を取り入れる。</li> <li>ICTを活用し、自分の思いや発想を出しやすくするとともに、意見を共有し深めあう機会を確保する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業のねらいを理解させ意欲的に取り組ませる。</li> <li>毎時間の中で語彙力を高めるための学習に注力する。</li> <li>表現力を身につけるために毎時間書く活動を取り入れる。また、家庭学習の時間を確保することで基礎学力の定着を図る。</li> <li>読解力を身につけるために音読や分析を重視した活動を取り入れる。</li> <li>ICTを活用し、自分の思いや発想を出しやすくするとともに、意見を共有し深めあう機会を確保する。</li> </ul>
社会科	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業のねらいを示し、主体的・意欲的に取り組ませる。</li> <li>学習への興味・関心を高めるためにICTや視聴覚教材を活用した指導を工夫する。</li> <li>表現する力を身につけるために意見や感想を書いたり、発表する活動を取り入れる。</li> <li>グループ活動による話し合い・学び合いで、協調性や表現力を育む。</li> <li>家庭学習の定着と充実による基礎・基本の定着を図り、授業で「できる」「わかった」を体感させ自己肯定感を育む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業のねらいを理解させ、主体的に取り組ませる。</li> <li>ICTを利用し、自分の興味関心に応じて学ぶ時間を取り入れる。</li> <li>他者の意見に触れるとともに、自分の意見を適切に表現できるように支援する。</li> <li>授業の後に確認テストを行い、基礎的な知識を反復し知識の定着を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業のねらいを理解させ、主体的に取り組ませる。</li> <li>ICTを利用し、自分の興味関心に応じて学ぶ時間を取り入れる。</li> <li>グループによる活動を取り入れ、他者の意見に触れるとともに、自分の意見を適切に表現できるように支援する。</li> <li>授業の最初に5問テストなどを行い、基礎的な知識を反復し知識の定着を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業のねらいを理解させ、主体的に取り組ませる。</li> <li>ICTを利用し、自分の興味関心に応じて学ぶ時間を取り入れる。</li> <li>他者の意見に触れるとともに、自分の意見を適切に表現できるように支援する。</li> <li>授業の後に確認テストを行い、基礎的な知識を反復し知識の定着を図る。</li> </ul>
数学科	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業の中で、問題を解く時間を十分に確保し、丁寧な説明指導を行う。</li> <li>答えにたどり着くまでの過程を明確に書き残すことを徹底させる。</li> <li>思考の過程を自分の言葉で説明する機会を多く設ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の習熟度に合わせ、提示する問題や時間などを考慮しながら、授業の発問やプリントの作成を工夫する。また、授業の中で生徒同士が教えあう時間を設けて、自分の言葉で説明する機会を大切にしている。</li> <li>ICTの活用により視覚的にわかりやすい授業展開や生徒の発表の場を設ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の習熟度に合わせ、提示する問題や時間などを考慮しながら、授業の発問やプリントの作成を工夫している。また、授業の中で生徒同士が教えあう時間を設けて、互いの教え合いの時間を大切にしている。</li> <li>ICTの活用により、視覚的にわかりやすい授業展開や生徒の発表をできる場を設けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の習熟度に合わせ、提示する問題や時間などを考慮しながら、授業の発問やプリントの作成を工夫している。また、授業の中で生徒同士が教えあう時間を設けて、互いの教え合いの時間を大切にしている。</li> <li>ICTの活用により、視覚的にわかりやすい授業展開や生徒の発表をできる場を設けている。</li> </ul>
理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な内容をわかりやすく、強調して説明し、基礎的・基本的な知識や技能の習得を図る。その際、日常生活との関連を示したり、実物の観察や実験をととして考えさせる工夫を行う。</li> <li>思考力、判断力、表現力の育成のため、自分の言葉で書いたり、発表したりする活動を重視する。また、少人数での実験や班・クラスでの話し合いをとおし、教えあい、学び合う機会を設ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本の内容を着実に定着できるよう、プリントを解くだけでなく、その振り返りを重視する。また、日常生活と関連付けさせることで、基本の定着や思考力のアップを図る。</li> <li>ICTをスライド形式・話し合い用のジャムボード形式・インターネットを活用した調べ学習という形で取り入れたり、自由選択形式の課題(自由研究含む)を取り入れたりし、視覚的・自発的に知識や探求心を身につけさせる取り組みを行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業の最初に「本時のねらい」を示し、主体的・意欲的に取り組ませる。</li> <li>日常生活で起こることや自然環境との結びつきを重視し、少人数での話し合い・実験・発表の時間を設ける。</li> <li>ICTの活用により、視覚的にわかりやすい授業展開や思考力・表現力を身につけさせる取り組みを行う。</li> <li>主体的な単元・各章のまとめを取り入れ、知識・理解、表現力を高めるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な内容の定着が図れるように、導入などをわかりやすく、かつ、日常生活と関連させて示す。実物の観察や教師の演示実験をととして考えさせる工夫を行う。</li> <li>思考力、判断力、表現力の育成のため、自由課題をレポートにまとめたり、発言を通して意見を述べ、発表したりする活動をおこなう。班・クラスでの話し合いをとおし、互いに教えあい、学び合う機会を大事にし取り組ませる。</li> </ul>
外国語科	<ul style="list-style-type: none"> <li>効果的な少人数授業等を通して、1人1人の生徒への指導を充実させる。</li> <li>基礎的、基本的な知識、技能が定着するようICTを用いた家庭学習にも力を入れさせる。</li> <li>音読テスト、単語テストなどの小テストの機会をできるだけ増やし、生徒の学習意欲を引き出し、達成感を味わうようにしていく。</li> <li>学習した内容を繰り返し練習させる取り組みを工夫する。</li> <li>ペアやグループ活動、スピーチ発表等を通して、自己表現力を高める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>基礎的な表現や構文を反復練習し、言語使用の場面を意識しながら使う機会を多く設ける。</li> <li>音読や会話の練習、その他の課題において、「グループ学習を通して学びあう・教えあう」ことを重視し、互いの学びを深める取り組みを行う。</li> <li>単元テストや授業中の課題など学習内容の理解を生徒が自ら認知できるような機会を多く設けている。</li> <li>ICTを活用し、学習に向けての効果的な導入を行うとともに、内容理解を深め定着を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>基礎的な知識を反復練習した上で、使う機会を多く与えている。</li> <li>音読や文法演習、その他課題では「グループ学習を通して学びあう・教えあうこと」を重視し、互いの学びを深める努力をしている。</li> <li>単元テストや授業中の課題など学習内容の理解を生徒が自ら認知できるような機会を多く設けている。</li> <li>ICTを利用し、学習に向けての効果的な導入やテストなどを行い授業の効率化および採点業務の省力化などに生かしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ICTを用いて反復練習した上で、基礎的な知識を使う機会を多く与え、さらに小テストや単元テストなどで確認をしている。</li> <li>音読や文法演習、その他課題ではグループ学習やペア発表などを通して学びあい、教えあうことを重視し、互いの学びを深める努力をしている。</li> <li>ICTを利用し、学習に向けての効果的な導入に生かしている。</li> </ul>

⑪-2授業改善推進プラン(中間改善計画)

各教科における課題を改善するための指導の重点				
	年度当初に設定した重点	第1学年	第2学年	第3学年
音楽科	<ul style="list-style-type: none"> <li>○授業の狙いを理解させ、意欲的に取り組ませる。</li> <li>○実技の表現活動で、個々の技術向上を充実させ、習得したことを実感させる。</li> <li>○練習しやすい楽譜の工夫、個人練習と個別指導の時間設定の工夫を行い、効率よく学習に取り組めるよう工夫する。</li> <li>○生徒の自主意識が育つよう、パートリーダーの育成等の取り組みを行い、集団の力を育てる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○授業のはじめに目標を示し、振り返りやプリント等を活用して内容をしっかりと理解させる。</li> <li>○実技は、演奏の仕方等の説明、個人練習、全体練習の時間配分をしっかりと示し、意欲的に取り組める環境を作る。また生徒の力量に合わせた課題の選択肢を複数用意することで、集中力を持続させる。</li> <li>○パートリーダーを中心にパート練習を行うことで、リーダーの育成と生徒の自主意識を高める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○授業のはじめに目標を示し、振り返りやプリント等を活用して内容をしっかりと理解させる。</li> <li>○実技は、演奏の仕方等の説明、個人練習、全体練習の時間配分をしっかりと示し、意欲的に取り組める環境を作る。また生徒の力量に合わせた課題の選択肢を複数用意することで、集中力を持続させる。</li> <li>○パートリーダーを中心にパート練習を行うことで、リーダーの育成と生徒の自主意識を高める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○授業のはじめに目標を示し、振り返りやプリント等を活用して内容をしっかりと理解させる。</li> <li>○実技は、演奏の仕方等の説明、個人練習、全体練習の時間配分をしっかりと示し、意欲的に取り組める環境を作る。また生徒の力量に合わせた課題の選択肢を複数用意することで、集中力を持続させる。</li> <li>○パートリーダーを中心にパート練習を行うことで、リーダーの育成と生徒の自主意識を高める。</li> </ul>
美術科	<ul style="list-style-type: none"> <li>○豊かな発想や構想を練る力が育つような工夫を行う。</li> <li>○創意工夫して表現する力の育成のために、個々に応じた助言による個別指導を充実させる。</li> <li>○良さや美しさを感じ取る力が育つような工夫を行う。</li> <li>○多様な芸術作品の鑑賞や作品の相互の鑑賞を通して感性を育むような取り組みを進める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○わかりやすく説明し、内容をしっかりと理解させる。生徒の力量にあわせて個別指導をおこない、作業に集中ができるように時間配分をするなどの工夫をする。1人1人が心を込めて作品を完成させることで意欲を継続させる。</li> <li>○豊かな発想や構想を練る力、創意工夫して表現する力の育成のために、個々に応じた助言による個別指導を充実させる。</li> <li>○良さや美しさを感じ取る力を育てるために、多様な芸術作品の鑑賞や作品の相互鑑賞をおこない、感性を育むような工夫を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○わかりやすく説明し、内容をしっかりと理解させる。生徒の力量にあわせて個別指導をおこない、作業に集中ができるように時間配分をするなどの工夫をする。1人1人が心を込めて作品を完成させることで意欲を継続させる。</li> <li>○豊かな発想や構想を練る力、創意工夫して表現する力の育成のために、個々に応じた助言による個別指導を充実させる。</li> <li>○良さや美しさを感じ取る力を育てるために、多様な芸術作品の鑑賞や作品の相互鑑賞をおこない、感性を育むような工夫を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○わかりやすく説明し、内容をしっかりと理解させる。生徒の力量にあわせて個別指導をおこない、作業に集中ができるように時間配分をするなどの工夫をする。1人1人が心を込めて作品を完成させることで意欲を継続させる。</li> <li>○豊かな発想や構想を練る力、創意工夫して表現する力の育成のために、個々に応じた助言による個別指導を充実させる。</li> <li>○良さや美しさを感じ取る力を育てるために、多様な芸術作品の鑑賞や作品の相互鑑賞をおこない、感性を育むような工夫を行う。</li> </ul>
保健体育科	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習規律を確立し、全員で実施する準備運動、補助運動、補強運動を充実させる。</li> <li>○種目に合わせた学習カードを活用することで、目標設定、個人の課題や集団の課題について考えさせる。</li> <li>○運動することの楽しさやルールを守ることの大切さを学ばせる。</li> <li>○集団の一員として、主体的に集団に貢献しようとする意識・態度を育む</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○授業のはじめに目標を示し、振り返りやプリント等を活用して内容をしっかりと理解させる。</li> <li>○実技は、運動の仕方からゲームの進め方等の説明、個人練習、全体練習の時間配分をしっかりと示し、意欲的に取り組める環境を作る。また生徒の力量に合わせた課題の選択肢を複数用意することで、集中力を継続させる。</li> <li>○チームリーダーを中心に練習を行うことで、リーダーの育成と生徒の自主意識を高める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○授業のはじめに目標を示し、振り返りやプリント等を活用して内容をしっかりと理解させる。</li> <li>○実技は、運動の仕方からゲームの進め方等の説明、個人練習、全体練習の時間配分をしっかりと示し、意欲的に取り組める環境を作る。また生徒の力量に合わせた課題の選択肢を複数用意することで、集中力を継続させる。</li> <li>○チームリーダーを中心に練習を行うことで、リーダーの育成と生徒の自主意識を高める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○授業のはじめに目標を示し、振り返りやプリント等を活用して内容をしっかりと理解させる。</li> <li>○実技は、運動の仕方からゲームの進め方等の説明、個人練習、全体練習の時間配分をしっかりと示し、意欲的に取り組める環境を作る。また生徒の力量に合わせた課題の選択肢を複数用意することで、集中力を継続させる。</li> <li>○チームリーダーを中心に練習を行うことで、リーダーの育成と生徒の自主意識を高める。</li> </ul>
技術・家庭科	<ul style="list-style-type: none"> <li>○わかりやすい言葉での説明を心がけ、生徒の集中が持続するよう工夫する。</li> <li>○1人1人に目をかけ、根気よく作業に取り組めるようにする。</li> <li>○プリントや設問形式を多用し、興味関心を引き出すようにする。</li> <li>○学習作りをおして自信を持てるよう個に応じた支援を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○わかりやすく説明し、プリント等を活用して内容をしっかりと理解させる。生徒の力量にあわせて個別指導をおこない、作業に集中ができるように時間配分をするなどの工夫をする。1人1人が心を込めて作品を完成させることで意欲を継続させる。</li> <li>○豊かな発想や構想を練る力、創意工夫して表現する力の育成のために、個々に応じた助言による個別指導を充実させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○わかりやすく説明し、プリント等を活用して内容をしっかりと理解させる。生徒の力量にあわせて個別指導をおこない、作業に集中ができるように時間配分をするなどの工夫をする。1人1人が心を込めて作品を完成させることで意欲を継続させる。</li> <li>○豊かな発想や構想を練る力、創意工夫して表現する力の育成のために、個々に応じた助言による個別指導を充実させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○わかりやすく説明し、プリント等を活用して内容をしっかりと理解させる。生徒の力量にあわせて個別指導をおこない、作業に集中ができるように時間配分をするなどの工夫をする。1人1人が心を込めて作品を完成させることで意欲を継続させる。</li> <li>○豊かな発想や構想を練る力、創意工夫して表現する力の育成のために、個々に応じた助言による個別指導を充実させる。</li> </ul>
総合的な学習の時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学年に応じた課題を設定し、今までの知識と関連させながら学びを進めていけるよう工夫する。</li> <li>○学習したことは新聞にまとまり、発表したりするなど言語を通じた活動を重視し、表現力が育つよう工夫する。ICTを活用した資料作成・発表も行っていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○職業調べでは、調査活動や調べたことをICTを活用してまとめ、聞き手によりわかりやすい発表を行うこと、表現力を高める。</li> <li>○他者からの評価も参考にし、自己を見つめ、興味や関心から将来の職業選択について考える活動を充実させる。</li> <li>○スキーム教室への取り組みを通して、調べ学習の成果を、生徒自身がクロムブックを活用し、作成したスライドで発表を行うなどの経験をさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○鎌倉校外学習や進路に向けて、ICTを活用し、調べ学習や進路・キャリア学習を行う。</li> <li>○校外キャリア体験を通して、様々な職業を知り、社会のつながりを感じ、興味のある職業について視野を広げて考えさせる。</li> <li>○スライド作成の方法や話し方等、発表を工夫する視点を示し、効果的なプレゼンテーションができるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○修学旅行や進路に向けて、ICTを活用しつつ、調べ学習や進路・キャリアの活動を行なう。</li> <li>○調べ学習や発表、キャリア教育における動画での授業はわかりやすく、深い考えに触れながら自分の考えを深めるのに効果的である。</li> <li>○生徒自身がクロムブックを活用し、作成したスライドで発表を行うなどの経験をさせることができる。</li> </ul>
特別の教科 道徳	<ul style="list-style-type: none"> <li>○副読本や他の資料での学習を通して、人としての大切な生き方を学ばせる。</li> <li>○様々な機会等で公徳心を高め、規範意識の向上を図られる工夫をする。</li> <li>○生命を尊び、思いやりの心をもつ生徒の育成を目標に、様々な場面で共に考える指導方法を工夫する。</li> <li>○授業を通して自分の心と向き合い、真剣に生き方について考えられるよう工夫する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○いじめやトラブル防止のために、SNS利用時に配慮することを考え、実生活に生かせるようにする。</li> <li>○授業を通じて、人としての生き方を学ばせることや規範意識の向上を図れるように工夫をする。</li> <li>○生命を尊び、思いやりの心をもつ生徒の育成を目標に、様々な場面で共に考える指導方法の工夫をする。</li> <li>○授業を通して自分の心と向き合い、真剣に生き方について考えられるよう工夫する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○いじめ防止のために道徳の授業を通して、いじめの対処法を学ぶことよって実生活に生かせるようにする。</li> <li>○授業を通じて、人としての生き方を学ばせることや規範意識の向上を図れるように工夫をする。</li> <li>○生命を尊び、思いやりの心をもつ生徒の育成を目標に、様々な場面で共に考える指導方法の工夫をする。</li> <li>○授業を通して自分の心と向き合い、真剣に生き方について考えられるよう工夫する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校行事や生徒たちの学校での様子に合わせて教材を副読本などの資料を活用して、生徒自身の理解を深める。</li> <li>○授業を通じて、人としての生き方を学ばせることや規範意識の向上を図れるように工夫をする。</li> <li>○生命を尊び、思いやりの心をもつ生徒の育成を目標に、様々な場面で共に考える指導方法の工夫をする。</li> <li>○授業を通して自分の心と向き合い、真剣に生き方について考えられるよう工夫する。</li> </ul>

各教科における課題を改善するための指導の重点				
	年度当初に設定した重点	第1学年	第2学年	第3学年
特別活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校行事を通して、集団として協力して何かを成し遂げる達成感を味わえるようにする。</li> <li>○行事や学級での取り組みを通して自己肯定感が育つよう工夫する。</li> <li>○学校、学級、その他の場面でリーダーが育つような取り組みを進める。</li> <li>○学級活動や学年活動の中で、個々の役割を見つめさせ、他を認める大切さを学ばせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○体育祭や合唱祭などの学校行事に主体的に関わり、集団として協力して何かを成し遂げる達成感を味わえるようにする。</li> <li>○行事や学級での取り組みを通して、他者を認めるとともに、自己肯定感が育つように工夫をする。</li> <li>○学校、学級、その他の場面で、生徒自身が主体的に活動できる場面を設定し、自治の力を高める。</li> <li>○個々の役割を見つめさせ、組織の一員としての帰属意識を高めさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○中堅学年として体育祭や合唱祭などの学校行事に主体的に関わり、集団として協力して何かを成し遂げる達成感を味わえるようにする。</li> <li>○行事や学級での取り組みを通して自己肯定感が育つよう工夫する。</li> <li>○学校、学級、その他の場面で生徒自身が様々なことを計画できる場面を意図的に作ることで、生徒の主体性を引き出す。</li> <li>○学級活動や学年活動の中で、個々の役割を見つめさせ、他を認める大切さを高めさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○最上級生として体育祭や合唱祭などの全校規模の学校行事に主体的に関わり、集団として協力して何かを成し遂げる達成感を味わえるようにする。</li> <li>○行事や学級での取り組みを通して自己肯定感が育つよう工夫する。</li> <li>○学校、学級、その他の場面でリーダーが育つような取り組みを進めるため、生徒自身が様々なことを計画できる場面を意図的に作り、最上級生としての意識を高める。</li> <li>○学級活動や学年活動の中で、個々の役割を見つめさせ、他を認める大切さを学ばせる。</li> </ul>